

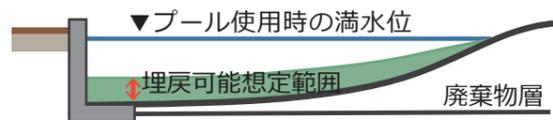
ゾーニング案

本案は「日光川公園における民間活力導入についてのサウンディング（対話2回目）調査実施要領」にてお示ししている日光川公園の概要（現況）、再生の考え方、公募概要（案）に基づいて、本市が作成したゾーニング案です。

具体的な事業条件等に関するご意見をお伺いするために作成したものであり、**配置に関する整備条件を示したものではありません。**

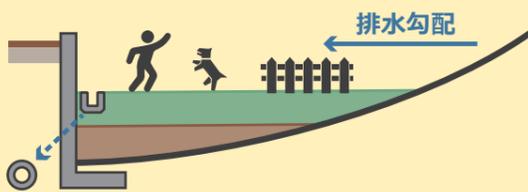
プールの埋め戻し

地盤沈下の懸念があるため、盛土によるプール部分の埋め戻しは、水と土の比重を考慮して水深の4割程度の高さまでを想定（下図及び各ゾーンのイメージ図参照）



ドッグランゾーン 1.4ha

【配置の考え方】
高低差のある構造が犬の脱走防止、他エリアとの分けけに活用できるため、造波プール跡地をドッグランとして活用する



- 【ゾーン内の主な機能】
- ・複数のエリアを備えた大規模ドッグラン
 - ・高低差を利用したドッグラン観覧スペース
 - ・トイレ機能を備えた飲食店、売店
 - ・ペット同伴可能なグランピング
 - ・ドッグラン専用駐車場

ひろばゾーン 1.4ha

【配置の考え方】
雄大な河口風景や公園全体の見通しの良さの確保、各ゾーンの緩衝帯としての役割から、中央部に広場を設ける



- 【ゾーン内の主な機能】
多様なイベントやアクティビティが実施可能なひろば



【公園全体における配置の考え方】

- ・地下廃棄物と地盤沈下の現況に配慮し、既存の地形や歩車道動線を活用
- ・バリアフリーに配慮し、誰もが使いやすい配置、線形、施設となるよう整備
- ・既存植栽帯を活かし外周に緩衝帯を設けることで、外部との隔離や特別な空間を演出
- ・日光川の特長（雄大な河口風景や立地など）やこれまで培ってきた南国的なイメージを活用

エントランスゾーン 1.0ha
【配置の考え方】
公園の顔となるひろばと連続してエントランスを配置する
【ゾーン内の主な機能】
・総合受付（キャンプ、ドッグランなど）
・バックヤード

駐車場ゾーンA 1.4ha (現況446台)
【配置の考え方】
盛土が薄く廃棄物層が近いいため、既存駐車場をそのまま活用する

駐車場ゾーンB 0.5ha
【配置の考え方】
ドッグラン利用者の動線を分けるため、ドッグラン側にも駐車場を配置する

キャンプフィールドゾーン 3.5ha
【配置の考え方】
景観を重視し、園内で最も見晴らしのよいスライダー跡地及び比較的平坦な幼児プール跡地をキャンプフィールドとして活用する

【ゾーン内の主な機能】

- ・多様なニーズに応えるキャンプサイト
- ・車中泊エリア（既存駐車場の南側を想定）
- ・トイレ、炊事場、シャワー等のキャンプ場運営に必要な施設
- ・飲食店、売店

